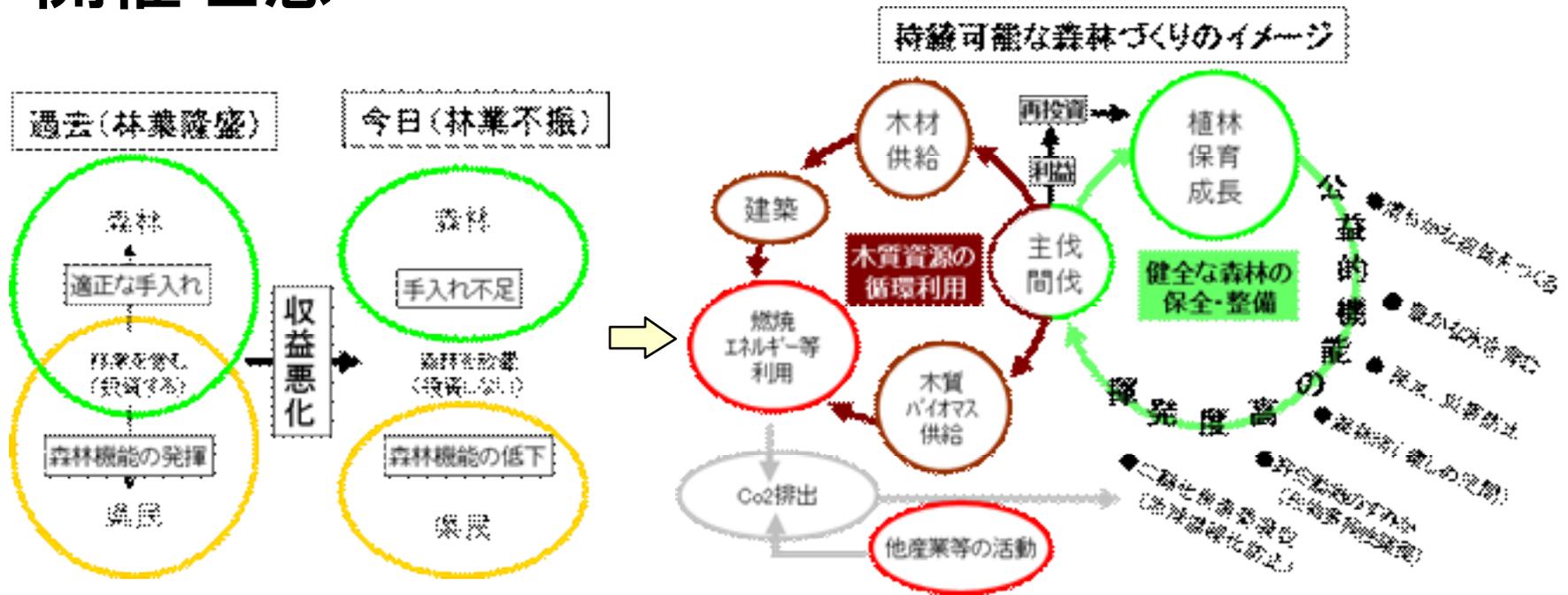


参考

基本構想(素案)

1 開催理念



- 本県は、県土の74%を森林が占め、古くから森林の恵みに育まれながら、森林と共に営みを続けてきた。しかしながら、今日、木材価格の低迷等により、森林づくりを支えてきた林業の不振が続き、全国的に手入れの行き届かない森林が増え、森林の持つ公益的な機能が低下してきている。
- 森林の持つ機能は、木材の供給だけでなく、酸素の供給、水源のかん養、土砂の流出・崩壊の防止、生物多様性の確保、保健休養の場の提供、海に恵みをもたらす機能等非常に多い。特に最近では、二酸化炭素を吸収することによる地球温暖化防止や、良好な生育環境を提供することによる生物多様性確保等、地球環境保全に貢献する働きに期待が高まっているところであるが、森林の機能を高度に発揮させるためには、森林・林業の循環による持続可能な森林づくりが必要である。

- こうした中、平成22年の国際生物多様性年において、名古屋で開催されたCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)をきっかけに、人工林の間伐遅れや、里山林の放置等による、森林環境の変化と、生物多様性損失に対する国民の危惧が高まった。加えて全国植樹祭を開催する平成25年は、京都議定書後の新たなスキームがスタートする年でもあり、これを機会に、我々は、持続可能な森林づくりによる地球環境の保全や、これを支える、森と親しみながら共生してゆくライフスタイル、就業スタイル等を提案し、全国との交流を図る中で、環境先進県である「とっとり」をアピールする。

□平成22年：国際生物多様性年

COP10をきっかけに、生物多様性損失に対する国民の危惧の高まり

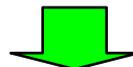
□平成25年：温室効果ガス削減第2約束期間のスタート

京都議定書後の温室効果ガス削減の新たなスキームがスタート



□平成25年：第64回全国植樹祭鳥取県開催

持続可能な森林づくりによる地球環境の保全や、これを支える、森と親しみながら共生してゆくライフスタイル、就業スタイル等を提案



環境先進県「とっとり」をアピール

2 県民運動

○県民が、全国植樹祭の開催を契機に、将来に向かって、森林づくりの必要性を理解・共有し、次の世代につなげていくための運動に取り組む。

<豊かな自然や森林を知り伝える>

○魅力あるふるさと「とっとり」を支える豊かな自然や森林の役割を再認識し、その良さ、大切さを学ぶ。

<活力のある健全な森林と共生する>

○県産材を伐り出し、積極的に利用する「とっとり」木づかい運動を展開することで、活力のある健全な森林づくりにつなげる。

○水源のかん養、土砂流出の防止、二酸化炭素の吸収、生物多様性の確保などの多様な機能を持続的に発揮できるよう、間伐や里山の再生活動などへの参加等、健全な森林づくりの推進や、緑の募金などを通じて森林づくりの取り組みを応援する。

<森は海のともしち>

○豊かな海づくりには、豊かな森林づくりが必要。平成23年には、「全国豊かな海づくり大会」の本県開催も決定。豊かな水を育む、上下流の県民が連携協力した森林保全活動を展開する。



3 植栽行事

1 基本的な考え方

- 植樹行事の実施にあたっては、本県の気候風土に適した樹種など、地域特性に応じた森林づくりを目指したものとする。
- 森と親しみながら暮らしてゆくライフスタイル、就業スタイル等、森林づくり活動の拡大につなげていく契機とするため、多様なボランティア、子ども、高齢者、障がい者などを含む、できるだけ多くの県民や、「とっとり共生の森」参画企業が参加できるようにする。
- 植樹用の苗木は、県内で採取した種子を育成することを基本とし、十分な育成期間を確保するため、必要に応じて今秋からの育成を順次スタートする。

2 お手植え・お手播き

- 天皇皇后両陛下に苗木のお手植えと種のお手播きを賜る。樹種は、本県の自然条件にあった在来の樹種で、県民に親しみのあるものとし、お手植えにあつては、両陛下にそれぞれ3種類程度、お手播きにあつては、両陛下にそれぞれ2種類程度賜る。具体的な樹種の選定は、専門委員会で行う。
- 全国植樹祭開催後、お手植えされた記念樹は、森林づくり運動のシンボルとして、大切に管理・育成
- お手播きされた種子から養成した苗木は、鳥取県が管理・育成し、県内の市町村、教育施設、病院、その他の公共施設等に広く「記念樹」として配布し、植樹いただく。



(第60回
全国植樹祭
/H21 福井県)

3 記念植樹

- 参加者の植栽樹種は、植樹エリアごとに、地域の特性等に沿って選定し、未来の森森林をイメージしながら植樹
- 県内外からの参加者が、1人1本以上の記念植樹を行う。なお、具体的な樹種の選定は、専門委員会で行い、未来の森の姿や森林づくりの手法などは、「基本計画」を策定する中で検討
- 植栽会場の一區画に、「とっとり共生の森」参画企業の協力による、「とっとり連携の森」を設定。土地本来の植生を重視して養成した多用な樹種を混ぜて植栽いただく。



(第60回 全国植樹祭 /H21 福井県)